

114
A5266

暖回テ春樹花発シ霜落テ秋林果熟ス天理如斯
 ナレハ人事モ亦果シテ如斯ナラサルヲ得ンヤ
 然ラハ則チ敬直ノ宿願モ蓋シ時機ノ熟スルニ
 非レハ必ズ貫徹スルヲ無キヲ以テ日々扞搦請
 求スルモ果シテ何ノ益カラシムヤ只閣下ノ
 清懐ヲ累ハスニ過キサルノミ況ヤ去月上旬林
 友幸氏ニ内諭セラレタル旨趣ヲ扞承シタルニ
 於テリヤ嗚呼閣下敬直ノ微衷ノアル所ヲ
 信スルノ深キニアラサレハ馬リ此言ヲ出スヲ

大正十一年四月
 大隈侯 邱寄贈



得ニヤ敬直竊ニ感泣扨謝シテ止サル所也故ニ
今ヤ所謂待テ求メサル可キノ時ニ際會セリト
思惟シ去ル四月十七日ノ扨謁以降故テニ參郎
セサリシ所以ナリ然リ而シテ又他ノ一點ヨリ
熟慮セハ中心甚ク安セサルニテアリ請フ其概
畧ヲ俾セシ敬直曾テ方向ヲ轉ニ深ク閣下
ニ哀訴請願セシヨリ茲ニ數月間去月上旬林女
幸氏へ内諭ノ息言ヲ扨聞セサリシ以前ニ在リ
テハ殆ト五里霧中ニ彷徨シテ針路ヲ認ムルコ
ト

能ハサルカ如ク常ニ快々トシテ樂シクサリシ
今ヤ旧時ニ比スレハ其半ニ過キスト余は猶未
タ豁然タル地位ニ達スルコト能ハス何トナレハ
身ハ茲ニ在リハ志ハ彼ニ在リ独リ恐ヒテ自他
共ニ欺カサル可ラサレハ必故ニ曰ク中心甚ク
安スルコト能ハスト是ヲ以テ暫ク上州伊香保ノ
温泉ニ赴キ身體ヲ養ヒ彼ノ春秋草木ノ培養ヲ
加ヘテ季候ノ熟スルヲ待ツカ如ク他日
閣下ノ誘導アルヲ樂ニ章程ノ發行ヲ待ツカ如

カサル可シト思惟シ其可否ヲ仰カント欲シテ
去月廿八日以来屢參邸セシ所以也去月廿六日
復林友幸氏ニ相會シテ稍 閣下ノ深情ヲ窺フ
ヲ得タルニ由リ断然入浴行ヲ変シタリ其途
及ヒ歸京ノ目限ノ如キハ氣ノ上陳ノ後ナ之ヲ
定メシ 欲スルカ故ニ敢テ尊嚴ヲ冒シテ不日
趨庭扞謁シ乞フニト欲ス 閣下幸ニ之ヲ恕セヨ
誓首再拜

明治十三年二月三十日

石川敬直

參議大隅重信殿

